



分室特別展

「書家・松井如流
—ゆるぎない信念とともに—
10月3日(土)～12月23日(水祝)



「丹愚」秋田県立近代美術館蔵
※たんぐ：まごころの意

11月17日(火)からは後期展示となります。上の「丹愚」は、病を得てからの書。大字書として最後の作品です。ぜひご覧ください。

人生で養われた証なのだろうと思います。如流の作品、ゆるぎなく貫かれた信念は、現代を生きる私たちの心にも大きく響くことと思います。展示会は12月23日(水・祝)まで。11月17日(火)からは後期展示となります。

79歳の頃、脳血栓を患い、右半身不随という書家として致命的な病を背負いました。1年間の過酷な入院、リハビリ生活に耐え、奇跡的に書家としての復活を遂げましたが、書くことをあきらめなかったこと、右手で書くということにこだわり続けた姿は、まさに関東大震災のときに決心した、滅びることのない精神が如流の人生で養われた証なのだろうと思います。

筆持ちて一つの作に苦しめば

身のほてるまでけふも夜となる

練馬区関町北に住んだ書家・松井如流(1900-1988)は、さまざまな苦境を乗り越え、書家としての人生を全うしてきました。本展では、書家であり歌人でもあった如流の生涯と代表作のご紹介をしています。

秋田県平鹿郡横手町(現・横手市)に生まれ

た如流は、生後1年のうちに父親を亡くして

います。姉2人、兄1人の4人兄弟で、生活は決

して裕福ではなかったものの、芯の通った母の

強さに支えられ、明るく暮らしました。書家と

して大成した如流ですが、小さい頃は字があまり

得意ではなかったそうで、書家となつてから

小学校時代の先生に会った際、「あの習字が下手

だった如流がどうして書家になれたのか」と

不思議がっていた、というエピソードもありま

す。

10・11月のイベント情報

日付	時間	イベント名	場所	講師等	定員	対象	費用	申込
10/7 (水)	14:00～14:40 15:00～15:40	サポーターによる展示解説 ①石ノ森章太郎について②近藤芳美について	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室サポーター および 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
10/18 (日)	12:00～13:00	サロコンサート 日本大学芸術学部学生によるクラシックコンサートです。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	演奏：日本大学 芸術学部学生	100人	どなたでも	無料	なし
10/24 (土)	A回13:30～15:00 B回15:30～17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオオダイオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：金子学 (ペーレンプラッツ代表)	各回20人	中学生以上	500円 当日払い	10/10(土) ★1
10/25 (日)	14:00～14:40 15:00～15:40	サポーターによる展示解説 ①徳岡神泉について②和辻哲郎について	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室サポーター および 当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
11/1 (日)	14:00～15:30	講座「和」を学ぶシリーズ第4回 「親子いけばな」 親子で楽しく生け花を体験できます。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	講師：石本弘園 (練馬区連理道連理理事長)	15組 (1組3名 まで)	小・中学生 とその保護者	1組700円 当日払い	10/17(土) ★2
11/14 (土)	15:00～15:40	「書家・松井如流」展示解説 担当学芸員による展示解説です。	石神井公園ふるさと文化館分室	講師：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
11/15 (日)	12:00～13:00	サロコンサート 武蔵野音楽大学学生によるクラシックコンサートです。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	演奏：武蔵野音楽 大学学生	100人	どなたでも	無料	なし
11/22 (日)	14:00～15:30	松井如流展関連イベント 講演会「松井如流と現代短歌」 如流が嗜んだ短歌に関する講演会です。	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	講師：篠弘 (歌人、 日本現代詩歌文学館館長)	100人	中学生以上	無料	11/7(土) ★3
11/23 (月祝)	13:00～14:30	松井如流展関連イベント 「如流作品から古典を学ぶ：一字書を福子に 書こう」※書道用具一式(筆、硯、毛氈、文鎮)持参	石神井公園の風 文化公園管理棟内 多目的室	講師：香川景行 (書家)	30人	中学生以上	1,000円 当日払い	11/11(水) ★4
11/25 (水)	15:00～15:40	「書家・松井如流」展示解説 担当学芸員による展示解説です。	石神井公園ふるさと文化館分室	講師：当室学芸員	なし	どなたでも	無料	なし
11/28 (土)	A回13:30～15:00 B回15:30～17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオオダイオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室オオダイオ 担当職員	各回20人	中学生以上	300円 当日払い	11/14(土) ★5

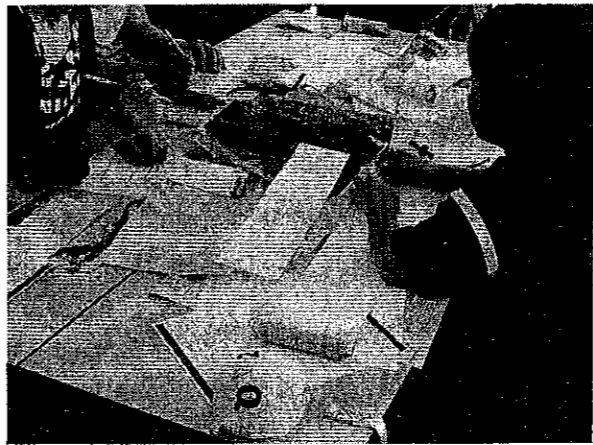
ワークショップ「妖怪絵巻をしくしく」

今年の夏も国内の各地で妖怪や幽霊、化け物などの不思議な生き物にまつわるさまざまな展覧会やイベントが行われました。「妖怪ブーム」とも言われている昨今、分室でも夏休みの時期に合わせて妖怪をテーマにした絵巻物づくりのワークショップを開催しました。

はじめに絵巻物の表紙と巻止めの紐を作り終えたあとは、いよいよ中身づくりに取り掛かります。物語に登場するのは子どもたちや親御さんがそれぞれプロフィールを考えた、オリジナルの妖怪たち。年齢や住処や性格など、それぞれに個性が光ります。なかには「息子をモデルにしました」というお母さんまで……

時代を経た古いものに触れてもらい、そこからヒントを得ながらさらにオリジナルの物語を考えてもらう。「子どもたちには少しむずかしかったかな」という不安もありましたが、一度書き始めると大人ではなかなか思いつかないようなアイデアが次々と形になっていきました。子どもたちの豊かな想像力に驚かされた今回のワークショップですが、来月以降も大人も子どももみんなで楽しめるイベントを企画しています。

ぜひご参加ください！

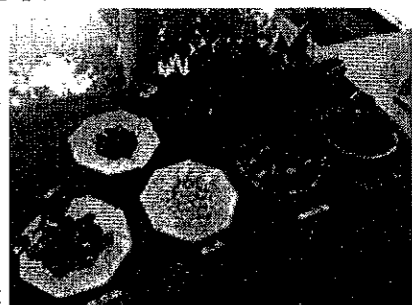


公園の四季 ～公園と木の実の関係～

うだるような暑さが過ぎ去り、涼しい日が続いています。少しずつ木の葉が赤く色づき始めるこの時期、公園の中にも外の富士街道沿いの道にもたくさんの木の实が落ち始めます。大変なのはグラウンドやランニングコースの清掃作業。特に大量に落ちている銀杏の実は足で踏んでしまうと地面にこびりついて強烈な臭いを出します。地面が銀杏のじゅうたんになってしまうのを防ぐために、公園では毎朝早くから施設管理の職員の方々が清掃作業をしてくださっています。

一方で、子どもたちがどんぐり集めに夢中になっているほほえましい光景が見られるのもこの季節です。もっとも一般的で私たちにとっても親しみが深いのは長細く小さな櫂の実ではないでしょうか。公園の中でも至る所に落ちています。しかし、より一層目を引くのはくぬぎの実です。傘を被った特徴的な丸い実が、公園の南東門から管理棟に続く道にたくさん落ちているのが見られます。

公園管理棟の入り口付近には、公園の中で取れる木の实を種類ごとに集めて置いてあります。ぜひそれぞれの違いを楽しんでみてください。



公園の木の実いろいろ



公園の朝の清掃

オーディオ担当にインタビュー

作家・五味康祐の遺品の、貴重なオーディオを用いての事業に日々取り組んでいる当室担当者。

「音」という形のないものとの格闘の日々に直撃インタビューです。

♪♪♪

Q 五味オーディオの素敵なところは？

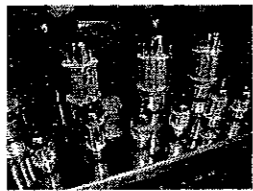
A スピーカのタンノイをはじめ、50年も経過したシステムだが、古いレコードを良い音で鳴らしてくれるだけでなく、新しいCDでも、その時代の音をそのまま表現してくれるところ。思い通りにいかないところは？

A 毎日の天候や季節、

湿度に影響され、御機嫌が変わるところです。

Q レコード、テープ、CDとの相性は？

A それぞれに良いところがありますが、五味氏のシステムでは、LPが一番合うかな？と思います。(編集子注：やっぱり！)



Q これからの目標は？

A 今の音を維持していくこと、その上で、今より少しでも音が良くなれば、と思っています。

今月の作品

荒俣 宏・著
『荒俣・江戸歩き』
(朝日新書 2014年)

博物学者にして図像学者、翻訳家にして小説家、ある時は妖怪評論家。テレビでもおなじみの荒俣氏は、実は練馬区北町に住んだ、練馬ゆかりの作家でもあります。この本は「どこまでが江戸の御府内か」を考える著者が、境界線の内外を歩くという一冊。古地図に記された、「朱引き」のエリアの謎解きをしながら、さまざまな土地が紹介されます。石神井公園、豊島園も出てきますよ！……なるほど、そうだったのか！でもなぜ江戸歩きで石神井公園が？それは読んでのお楽しみ。現代の風景にひそむ、江戸の残影。面白いです。

次回・展覧会

「ことばってたのしいな —木島始の詩と絵本—

平成28年1月9日(土)～3月27日(日)

長く練馬区に住んだ、詩人・木島始(きじま・はじめ)。現代詩・翻訳等多彩な作品を残した木島の、ユーモアと驚きあふれる詩と絵本の世界をご紹介します。絵本原画、生原稿など、絵本誕生の過程がわかる資料や、手にとって読める絵本の数々。思わず吹き出す面白いものも。どうぞ年齢に関係なく、分室に遊びに来てください。会期中、各種イベントも計画中。

【発行・お問い合わせ】

練馬区立 石神井公園ふるさと文化館分室
(指定管理者：(公財)練馬区文化振興協会)
〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内
Tel:03-5372-2572 Fax:050-3352-2983

アクセス

- ◆西武池袋線石神井公園駅(東京メトロ有楽町線、副都心線直通)
 - ・西口から徒歩15分(富士街道沿い)
 - ・北口から西武バス「吉祥寺駅行き」約5分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分
- ◆西武新宿線上石神井駅
 - ・北口から西武バス「成増町行き」約10分、「石神井郵便局」下車徒歩約1分

